

患者番号 () シート番号 () 1/3 作成日

患者番号 () シート番号 () 1/3 作成日

フリガナ		性 別		生 年 月 日				入 院 時 年 齢		満 歳			
本人													
居住地		都・道 府・県					居住 形態		電 話				
本 籍		都・道 府・県											
フリガナ		続 柄		生 年 月 日				選 任 状 況					
保護者													
保護者住所		都・道 府・県							電 話				
健康保険		種 別		保険者番号									
障害年金		種 別		(円/月)		生活保護		担 当					
各種手帳													
保護観察所				社会復帰調整官									
指定入院 医療機関		入院年月日		施設名				管理者					
		担当医師		担当精神保健福祉士				担当看護師					
		担当作業療法士		担当臨床心理技術者				担当その他					
受 診 歴		(複数の場合は順に列挙)											
		:入 通 () ~ ()		管理者		担当医師							
		:入 通 () ~ ()		管理者		担当医師							
		:入 通 () ~ ()		管理者		担当医師							
		:入 通 () ~ ()		管理者		担当医師							
		:入 通 () ~ ()		管理者		担当医師							
退院後予定		退院地、退院後の指定通院医療機関、担当保護観察所等の情報(予定がある場合記載)											
対象行為		行為名		発生年月日		概要							
刑事手続		起 訴		詳細		不起訴・起訴猶予 その他()		刑事手続での鑑定					
				判決		無罪・執行猶予 その他(年 月)		刑事手続での認定 病名					
		その他特記事項						刑事責任能力					
		検察庁				裁判所		不起訴等の場合「なし」		不起訴決定 裁判結審年月日			
		審判申立て年月日				鑑定入院命令年月日							
		審判期日				処遇決定年月日							
審判手続		審判裁判所				裁判官				精神保健審 判員		精神保健参 与員	
		付添人											
		鑑定入院医療機 関				鑑定人				鑑定入院 期間		～	
		審判、鑑定入院 中の治療等の特 記事項											

主診断(ICD)	(F)	
副診断(ICD)	複数の場合は列挙 (F) .	(F)
身体疾患(ICD)	複数の場合は列挙 () .	()
禁忌・アレルギー		
主訴・現病歴		
家族歴		
生活歴		
治療歴		
その他特記事項		
初診時現症		
身体的検査所見		
心理検査所見		

入院時基本情報管理シート

患者番号 () シート番号 () 3/3

総合的な生活機能(GAF)			点	生活機能を全体的にとらえて0～100点で評価する。
改訂版共通評価項目	要素	具体的要素	点	備 考
	疾病治療	精神病症状		
		内省・洞察		
		アドヒアランス		
		共感性		
	セルフコントロール	治療効果		
		非精神病性症状		
		認知機能		
		日常生活能力		
		活動性・社会性		
		衝動コントロール		
		ストレス		
	治療影響要因	自傷・自殺		
		物質乱用		
		反社会性		
性的逸脱行動				
退院地環境	個人的支援			
	コミュニティ要因			
	現実的計画			
	治療・ケアの継続性			
合計得点				
生活機能	セルフケア	領域	評価点	説明(生活機能上の問題と治療の焦点を明確にする)
		身体快適性の確保		
		食事や体調の管理		
		健康の維持		
	社会的な適正	調理		
		調理以外の家事		
		敬意と思いやり		
		感謝		
		寛容さ		
		批判		
	対人関係	合図		
		身体的接触		
		対人関係の形成		
		対人関係の終結		
		対人関係における行動の制限		
		社会的ルールに従った対人関係		
	日課の遂行	社会的距離の維持		
		日課の管理		
		日課の達成		
	ストレスとその他の心理的要求への対処	自分の活動レベルの管理		
		責任への対処		
		ストレスへの対処		
		危機への対処		
	経済生活	基本的な経済的取引		
複雑な経済的取引				
経済的自給				
現在の生活場面の実行状況を下記の得点により評価する。				
評価点: 0: 完全にできる(障害は0～4%、自立している)				
1: 概ねできる(障害は5～24%、見まもりを要する程度)				
2: 多少はできる(障害は25～49%、時に指示・介助・介入を要する)				
3: ほとんどできない(障害は50～95%、指示・介助・介入を要することが多い)				
4: まったくできない(障害は96～100%、常に介助が必要)				
8: 詳細不明				
9: 非該当				
機能に影響する環境要因	領域	評価点	説明(介入の要点や手がかりを明確にする)	
	生産品と用具	処方薬、自家用車、家、資産など		
	自然環境・地域環境	通院の便、地域の風紀など		
	支援と関係(量的な側面)	家族・知人・医療福祉関係者などの人的支援の量的な評価		
	態度(感情や質的な側面)	家族・知人の態度、治療者や生活地域などの人的環境の質的な評価		
サービス・制度	医療福祉制度の利用状況など			
環境因子が促進的、阻害的に働いているか、その具体的な内容を記す。介入の方針を立てる資料とする。				
評価点:0:「促進的」1:「どちらかという促進的」2:「どちらでもない」3:「どちらかという阻害的」4:「阻害的」の5段階。				
入院時治療方針				
シート作成責任者		精神保健指定医	作成年月日	

治療評価会議シート
患者番号 () シート番号 ()

作成日

フリガナ			性別			現在年齢	
本人氏名				生年月日			
治療期			左記治療期の開始(年月日)				
保護観察所			社会復帰調整官				
指定入院 医療機関	入院年月日		名称			管理者	
	多 職 種 チ ー ム の 担 当 者						
	医師		精神保健福祉士			看護師	
	臨床心理技術者		作業療法士			その他	
主診断(ICD)	(F)						
副診断(ICD)	(F)		(F)				
身体疾患(ICD)	()		(F)				
1週間の特記すべき状態像、提供した多職種チームによる治療的活動、薬物療法等							
活動範囲及び行動制限等							
改訂版 共通評価項目	要素	具体的要素	点	備 考			
	疾病治療	精神病症状					
		内省・洞察					
		アドヒアランス					
		共感性					
		治療効果					
	セルフコントロール	非精神病性症状					
		認知機能					
		日常生活能力					
		活動性・社会性					
		衝動コントロール					
		ストレス					
	治療影響要因	自傷・自殺					
		物質乱用					
		反社会性					
		性的逸脱行動					
		個人的支援					
	退院地環境	コミュニティ要因					
		現実的計画					
		治療・ケアの継続性					
合計得点							
1週間の 総合評価 と効果							
今後の目標 と治療方針							
会議参加者	(職種:)	(職種:)	(職種:)				
	(職種:)	(職種:)	(職種:)				
	(職種:)	(職種:)	(職種:)				
	(職種:)	(職種:)	(職種:)				
シート作成責任者	(職種:)		会議開催年月日				
			シート作成年月日				

運営会議シート

患者番号 (

) シート番号 (

) 1/2

作成日

フリガナ				性別			現在年齢	
本人氏名				生年月日				
治療期	左記治療期の開始(年月日)							
保護観察所				社会復帰調整官				
指定入院 医療機関	入院年月日			名称			管理者	
	多 職 種 チ ー ム の 担 当 者							
	医師			精神保健福祉士			看護師	
	臨床心理技術者			作業療法士			その他	
主診断(ICD)	(F)							
副診断(ICD)	(F) (F)							
身体疾患(ICD)	() (F)							
主要な精神症状								
行動制限 最近1ヶ月間	身体拘束の合計時間	時間	分	活動範囲	院内散歩日数	日		
	隔離の合計時間	時間	分		院外外出日数	日		
					外泊日数	日		
最近1ヶ月間に提供した多職種チームによる治療的活動						薬物療法の内容とその効果		
倫理会議の開催と決定事項								
本対象者に関する倫理会議開催の有無と開催回数				(回)				
決定事項(箇条書きに列挙し、決定年月日を記載)								
1.				決定年月日	3.		決定年月日	
2.				決定年月日	4.		決定年月日	
改訂版 共通評価項目	要素	具体的要素	点	備 考				
	疾病治療	精神病症状						
		内省・洞察						
		アドヒアランス						
		共感性						
		治療効果						
	セルフコントロール	非精神病性症状						
		認知機能						
		日常生活能力						
		活動性・社会性						
		衝動コントロール						
		ストレス						
	治療影響要因	自傷・自殺						
		物質乱用						
		反社会性						
		性的逸脱行動						
	退院地環境	個人的支援						
コミュニティ要因								
現実的計画								
治療・ケアの継続性								
合計得点								
1ヶ月間の要約								
目標到達度と今後の治療方針								
決議事項								

運営会議シート

患者番号 () シート番号 () 2/2

退院前訪問指導の実施状況

実施の有無と実施回数	(回)
退院前訪問指導 (1)	(ありの場合記載) 訪問者名: (職種:) (職種:) 行き先: 対談者 (対象者との関係) 指導内容: 今後の訪問予定: (予定日)
退院前訪問指導 (2)	(ありの場合記載) 訪問者名: (職種:) (職種:) 行き先: 対談者 (対象者との関係) 指導内容: 今後の訪問予定: (予定日)
退院前訪問指導 (3)	(ありの場合記載) 訪問者名: (職種:) (職種:) 行き先: 対談者 (対象者との関係) 指導内容: 今後の訪問予定: (予定日)

mECT

実施の有無と実施回数	(回)
実施理由(他の治療法を選択できない理由)	
術中使用薬剤の内容	静脈麻酔薬名: 吸入麻酔薬名: 筋弛緩薬名: その他の使用薬剤とその理由(他の前処置のための薬剤や降圧剤・呼吸賦活薬などの使用があれば記すこと):
実施の詳細	使用した機材 通電時間: 秒(最短) から 秒(最長)

身体合併症の症状・治療

身体合併症	
身体合併症名	主たる症状 主たる治療(他院受診の場合、病院名等の詳細も記載)

薬剤管理・指導(薬剤師)

(回)			
実施日	実施者	指 導 内 容	
会議参加者	(職種:)	(職種:)	(職種:)
	(職種:)	(職種:)	(職種:)
	(職種:)	(職種:)	(職種:)
	(職種:)	(職種:)	会議開催年月日
シート作成責任者	(職種:)	シート作成年月日	

入院継続情報管理シート

患者番号() シート番号() 1/2 作成日

フリガナ 本人			性 別			生年月日			現在年齢	満 歳
入院前居住地	都・道 府・県					居住 形態		電 話		
退院後居住地	都・道 府・県					居住 形態		電 話		
フリガナ 保護者			続 柄			生年月日			選任 状況	
保護者住所	都・道 府・県							電 話		
健康保険	種別			保険者番号						
障害年金	種別	(円/月)		生活保護		担当				
各種手帳										
保護観察所				社会復帰調整官						
指定入院 医療機関	入院年月日			施設名			管理者			
	担当医師			担当精神保健福祉士			担当看護師			
	担当作業療法士			担当臨床心理技術者			担当その他			
主診断(ICD)	(F)									
副診断(ICD)	複数の場合は列挙		(F)				(F)			
身体疾患(ICD)	複数の場合は列挙		()				()			
禁忌・アレルギー										
医療観察法の処遇 に至るまでの 現病歴										
医療観察法の処遇に おける 治療経過										
直近の現症										
身体的 検査所見										
現在の 薬物療法										

入院継続情報管理シート

患者番号() シート番号() 2/2

総合的な生活機能(GAF)			点	生活機能を全体的にとらえて0～100点で評価する。
改訂版共通評価項目	要素	具体的要素	点	備 考
	疾病治療	精神病症状		
		内省・洞察		
		アドヒアランス		
		共感性		
		治療効果		
	セルフコントロール	非精神病性症状		
		認知機能		
		日常生活能力		
		活動性・社会性		
		衝動コントロール		
	治療影響要因	ストレス		
		自傷・自殺		
		物質乱用		
		反社会性		
		性的逸脱行動		
	退院地環境	個人的支援		
コミュニティ要因				
現実的計画				
合計得点				
生活機能	領 域		評 価 点	説明(生活機能上の問題と治療の焦点を明確にする)
	セルフケア	身体快適性の確保		
		食事や体調の管理		
		健康の維持		
		調理		
		調理以外の家事		
	社会的な適正	敬意と思いやり		
		感謝		
		寛容さ		
		批判		
		合図		
	対人関係	身体的接触		
		対人関係の形成		
		対人関係の終結		
		対人関係における行動の制限		
		社会的ルールに従った対人関係		
	日課の遂行	社会的距離の維持		
		日課の管理		
		日課の達成		
	ストレスとその他の心理的要求への対処	自分の活動レベルの管理		
		責任への対処		
		ストレスへの対処		
	経済生活	危機への対処		
		基本的な経済的取引		
複雑な経済的取引				
現在の生活場面の実行状況を下記の得点により評価する。				
評価点: 0 : 完全にできる(障害は0～4%、自立している) 4 : まったくできない(障害は96～100%、常に介助が必要) 1 : 概ねできる(障害は5～24%、見まもりを要する程度) 8 : 詳細不明 2 : 多少はできる(障害は25～49%、時に指示・介助・介入を要する) 9 : 非該当 3 : ほとんどできない(障害は50～95%、指示・介助・介入を要することが多い)				
機能に影響する環境要因	領 域		評 価 点	説明(介入の要点や手がかりを明確にする)
	生産品と用具	処方箋、自家用車、家、資産など		
	自然環境・地域環境	通院の便、地域の風紀など		
	支援と関係(量的な側面)	家族・知人・医療福祉関係者などの人的支援の量的な評価		
	態度(感情や質的な側面)	家族・知人の態度、治療者や生活地域などの人的環境の質的な評価		
サービス・制度	医療福祉制度の利用状況など			
環境因子が促進的、阻害的に働いているか、その具体的な内容を記す。介入の方針を立てる資料とする。				
評価点:0:「促進的」1:「どちらかというと促進的」2:「どちらでもない」3:「どちらかというと阻害的」4:「阻害的」の5段階。				
入院を継続する必要がある理由				
入院における治療の課題と方針				
シート作成責任者		精神保健指定医		作成年月日

退院前情報管理シート

患者番号 () シート番号 () 1/2 作成日

フリガナ			性 別					現在年齢	満 歳
本人				生年月日					
入院前居住地	都・道 府・県					居住 形態		電 話	
退院後居住地	都・道 府・県					居住 形態		電 話	
フリガナ			続 柄					選任 状況	
保護者				生年月日					
保護者住所	都・道 府・県							電 話	
健康保険	種別			保険者番号					
障害年金	種別	(円/月)		生活保護	担当				
各種手帳									
保護観察所				社会復帰調整官					
指定入院	入院年月日			施設名		管理者			
医療機関	担当医師			担当精神保健福祉士		担当看護師			
	担当作業療法士			担当臨床心理技術者		その他			
主診断(ICD)	(F)								
副診断(ICD)	複数の場合は列挙		(F)		(F)				
身体疾患(ICD)	複数の場合は列挙		()		()				
禁忌・アレルギー									
医療観察法 の処遇 に至るまで の現病歴									
医療観察法 の処遇に おける 治療経過									
直近の現症									
身体的 検査所見									
現在の 薬物療法									

退院前情報管理シート

患者番号 () シート番号 () 2/2

総合的な生活機能(GAF)			点	生活機能を全体的にとらえて0～100点で評価する。	
改訂版共通評価項目	要素	具体的要素	点	備 考	
		疾病治療	精神病症状		
			内省・洞察		
			アドヒアランス		
			共感性		
	セルフコントロール	治療効果			
		非精神病性症状			
		認知機能			
		日常生活能力			
		活動性・社会性			
		衝動コントロール			
		ストレス			
	治療影響要因	自傷・自殺			
		物質乱用			
		反社会性			
性的逸脱行動					
退院地環境	個人的支援				
	コミュニティ要因				
	現実的計画				
合計得点					
生活機能	領 域		評 価 点	説明(生活機能上の問題と治療の焦点を明確にする)	
	セルフケア	身体快適性の確保			
		食事や体調の管理			
		健康の維持			
		調理			
	社会的な適正	調理以外の家事			
		敬意と思いやり			
		感謝			
		寛容さ			
		批判			
		合図			
	対人関係	身体的接触			
		対人関係の形成			
		対人関係の終結			
		対人関係における行動の制限			
		社会的ルールに従った対人関係			
	日課の遂行	社会的距離の維持			
		日課の管理			
		日課の達成			
	ストレスとその他の心理的要求への対処	自分の活動レベルの管理			
		責任への対処			
		ストレスへの対処			
		危機への対処			
	経済生活	基本的な経済的取引			
		複雑な経済的取引			
経済的自給					
現在の生活場面の実行状況を下記の得点により評価する。					
評価点: 0 : 完全にできる(障害は0～4%、自立している) 4 : まったくできない(障害は96～100%、常に介助が必要) 1 : 概ねできる(障害は5～24%、見まもりを要する程度) 8 : 詳細不明 2 : 多少はできる(障害は25～49%、時に指示・介助・介入を要する) 9 : 非該当 3 : ほとんどできない(障害は50～95%、指示・介助・介入を要することが多い)					
機能に影響する環境因子	領 域		評 価 点	説明(介入の要点や手がかりを明確にする)	
	生産品と用具	処方薬、自家用車、家、資産など			
	自然環境・地域環境	通院の便、地域の風紀など			
	支援と関係(量的な側面)	家族・知人・医療福祉関係者などの人的支援の量的な評価			
	態度(感情や質的な側面)	家族・知人の態度、治療者や生活地域などの人的環境の質的な評価			
サービス・制度	医療福祉制度の利用状況など				
環境因子が促進的、阻害的に働いているか、その具体的な内容を記す。介入の方針を立てる資料とする。					
評価点:0:「促進的」1:「どちらかという促進的」2:「どちらでもない」3:「どちらかという阻害的」4:「阻害的」の5段階。					
通院処遇における関係者	退院後の担当保護観察所		社会復帰調整官	その他のサービス	
	指定通院医療機関		管理者		
	社会復帰施設		管理者		
退院後治療方針					
退院後の観察に関する事項	①症状悪化時のサイン、②予測される問題、③危機回避の対策、④危機介入のタイミングと方法、などを具体的に記す。				
退院後の緊急時対応体制と連絡先(電話番号等)	日中				
	夜間				
	休日				
シート作成責任者		精神保健指定医	作成年月日		